

講師：愛知文教大学学長・教授 増田 孝

1回、もしくは2回で完結の資料を用い古文書（手紙）を読む講座です。書かれている文字を書いて覚えていく方法で、古文書を読む力が身についていき、筆で書かれた文字がすらすら読めるようになります。手紙を読むうちに歴史上の人物の姿が生き生きと浮かび上がる面白さを味わってみませんか？講師が持参される掛け軸や文書の実物が見られることも魅力の一つです。前期からの継続講座ですが、いつからでも始めていただけます。（毎回資料は変わります）



古文書の中でももっとも面白いのは手紙だろうと、私は思っている。

聞くところでは近ごろ古文書はブームで、あちこちの講座は満員らしい。一口に古文書といっても多様であるが、地方（じかた）文書や商人の文書はわりと易しく、内容も慣れさえすれば特に難読でもないだろう。

しかし、手紙は個人間の意志疎通のために書かれるだけに、今の電話のように、心情が吐露され、それだけに読んでみると難しいけれども他の文書にはない面白さを秘めているというのも事実である。しかも本人の書いた筆跡には書いたときの気持の揺れまでが反映するもので、現物は長い歴史の時を隔てて、今なお我々の胸を打つものがある。この感動を皆さんとともに味わいたい。

日時：4/14、5/12、6/9、7/14、8/4、9/29

第2水曜 18:00～19:30

受講料：6ヵ月6回 11,340円

*新入会の方は入会金4,200円が必要です

お申し込み・お問い合わせは...

(名古屋教室) 〒460-0008 名古屋市中区栄3-4-5 スカイル10階

052-249-5553



朝日カルチャーセンター | 名古屋
朝日JTB・交流文化塾

5108-0050

2010.4.

書 の 文 化 史